

## 2023年度

### ニチキッズまつえ上乃木保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月16日（金）・19日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりの気持ちに寄り添い、丁寧に関わるよう全職員が同じ姿勢で保育園作りをしていくようにした。
子どもの発達援助	子ども一人ひとりの姿を把握し、全職員で共有しながらさりげない援助を大切にした。子どもの発達を捉えた活動内容や環境をつくり、安心・安全に楽しく遊び、生活する環境を整えていくように努める必要があるといえる。
保護者に対する支援	送迎の際には、その日の姿を丁寧に伝えると共に、写真やホームページを活用しながら園での様子を発信することができた。 引き続き日々のコミュニケーションを大切に保護者に寄り添いながら、子ども成長を喜び合い、子育てに対する支援をしていく。
保育を支える組織的基盤	外部・内部研修や定期的な職員面談、職員会議を実施しスキルアップを図った。今年度、研修等で学んだ内容を保育実践として活かし更なる保育の質の向上を目指したい。

総評
保育理念や保育方針を理解した上で、子どもの発達に沿った保育計画を立て実践してきた。園生活の中で、子ども達の発達を踏まえた「環境づくりはどうだったのか」「安心安全な保育ができていたのか」と検討し課題としてあげられた。 園の課題については、職員とミーティングを重ねながら改善を図りながら、今後も子どもを主体とした丁寧な保育を心がけ、保護者の気持ちに寄り添い信頼関係を築いていく。